

(株)信州ケーブルテレビジョン
令和4年度 番組審議会議事録

開催年月日 令和5年3月24日(金) 10:00~11:00

開催場所 本社2階会議室(千曲市杭瀬下4丁目178番地)

委員出席 委員総数7名(全員出席)

出席委員の氏名

宮尾一彦	秘書広報課長(千曲市長代理)
栗原 達	千曲商工会議所 専務理事
永田 泰彦	信州千曲観光局 事務局長
堀口 強	さらしなルネサンス 理事
池田 文子	戸倉上山田商工会 女性部長
近藤美枝子	工房アプリコ 代表
荻原 祥子	湯上り美女連 代表

放送出席者側出席者名

山浦宏一、田中允也、塚田嘉次、坂口静恵

1. 開 会 放送部長 塚田嘉次

2. あいさつ (株)信州ケーブルテレビジョン 代表取締役社長 山浦宏一

番組審議委員会は、放送法という法律の中で実施が規定されている。

ここで出たご意見を各局の放送に生かしていく事が重要なので、ぜひ忌憚のないご意見をいただき、規模が小さい人的な問題などからすべてにお答えできるかは難しいところもありますが、取り入れられるところは取り入れて、地域に密着したコミュニティチャンネルとして自主放送の充実化を図っていきたい。

3. 当社番組の上映 「地域の魅力再発見 ちくま探訪」(治田神社編を10分ほど紹介)

以前、商工会議所の栗原様から地元の歴史や文化財などを取り上げ掘り下げる番組があったら良いというご意見をいただき、「地域の魅力再発見 ちくま探訪」という番組を令和4年度のスタートから始めた。地域を良く知る千曲市のボランティアガイド

(楽知会の山口さん)を案内役に毎回テーマを決めて地元の人に話を聞いたり、歴史建造物や古文書などを見たりしながら紹介する。前身には千曲市が日本遺産認定を受けた「月の都 千曲」の29ある構成文化財を紹介する番組を令和3年度に制作し1年を通して紹介したこともあり、それを引き継ぎ発展させる形で去年1年間放送してきた。

月1本の30分番組

コンセプトは、ボランティアガイドを案内役に専門家というよりも地元の方に紹介してもらおうという事にこだわりを持ちながら続けてきた。代表的な場所などは回ってきたが、引き続きもっと細かな場所を訪問して 紹介していきたい。

質問（ご意見）・回答

■千曲市 宮尾秘書広報課長

歴史文化財はまだたくさんあると思うので、引き続きやってほしい。

今やNHKや民放などに加え動画配信サービスなどさまざまなメディアがあるが、地域に根差したという部分では、信州ケーブルテレビに期待するところ。地域に密着した話題や情報発信をしてほしい。

■千曲商工会議所 栗原専務理事

ちくま探訪について、龍洞院の紹介などは知らないことも多かった。いながらにしてケーブルテレビを見れば知ることができ興味深かった。

たまたま今、須須岐水神社の氏子をやっているが、神事だけでも 10 回ある。

先頃は、3 年に 1 度大鳥居のしめ縄を交換する作業があった。

初めて参加したが凄かった。こうした作業風景も取材していただければ、より身近に感じていただけたと思う。神社の関係は、五穀豊穰を祝う神事や行事など取り上げられるもの多いかと思う。

また、(千曲商工会議所とケーブルネット千曲で共同制作している)「千曲☆あの店・この店」について会員事業所からも評判が良い。引き続きお願いします。

■信州千曲観光局 永田事務局長

楽知会から聞いてはいたが、ちくま探訪を見たのは初めて。

細かなところまで拾っていてためになると感じた。引き続きお願いしたい。

一点だけ、(コロナ過以降マスク着用の機会が多い)番組の中でマスクをしているせいか聞き取りにくい部分がある。キャスターであれば聞きやすいが、一般の方のコメントは分かりにくい部分もあるため、なるべくテロップ(文字)でフォローしてほしい。

■さらしなルネサンス 堀口理事

事務局長から理事になりました

私どもの団体は、先ほど見た「ちくま探訪」のように、歴史発掘や紹介を通じて千曲市の活性化につなげられるように励んでいる。

来月はちょうど千曲市合併で 20 周年ということもあり、紹介するには良い時期。

特に活動の重点においている旧さらしなの地域は棚田や自然、歴史文化財などあらゆるも

のがそろったバランスの良い地域。今、市と協同でイベントを考えている。

また、地域の子供たちは地域の事を知っているようで知らない。今、若い子供たちに地域の良さを引き継いで紹介していこうと、地域の良さをどうやって伝えていくかを考えながら取り組んでいる。要望があれば出前講座もやっている。教育委員会でも地域学習に力を入れるよう言っている。そうした活動にもスポットをあて取り上げていただけるとありがたい。

また、ちょうど今アンズのお花見の時期になろうとしているが、全国的にPRしていくためには、花だけでなく「食」食べ物を絡めた放送が良い。花見のあとはそば屋でそばを食べるなど、花を紹介するだけでなく、その地の食べ物をからめた紹介が良い

食には関心が

ケーブルテレビは、「地元」地域に徹した取材が望ましい。

■戸倉上山田商工会 池田女性部長

以前、ちくま探訪で私の地元でもある「力石」を取り上げていただいたので地元に住んでいるのに知らないことがあり役立った。ぜひ次世代を担う子供たちに見る手段を考えてほしい。

■工房アプリコ 近藤代表

2～3日の暑さでアンズが満開になってしまった。今一番忙しい時期。

森にもいろいろな歴史がある。以前は、屋代高校附属中学校からアンズの歴史を紹介してほしいという要望もあり、地元の詳しい人を紹介して回ったこともある。

また、栗原さんのおっしゃっていた須須岐水神社同様に、森の大宮神社の中にもいろいろな神が祭られていて、それぞれお祭りが違うので色々な行事がある。

そうした細かなところは知らない人が多いと思うので掘り出していただければ、もっとあんずの里を知っていただくきっかけになると思う。

また、工房アプリコが加工事業を始めて7年経ったが、アンズ自体が全国で人気があると実感している。後継者問題もあるが、今一番の悩みはアンズが実らなかつたら困ること。需要はいくらでもあると感じているが、一方でアンズは凍霜害に弱く実りに不安がある。

■湯上がり美女連 荻原代表

(ちくま探訪について)自分も歴史が得意な方では無いが、ナレーションで語るよりも人のお話はスッと胸に入ってくる。次世代の子供たちにも早いうちに番組を見ていただき、地元にはこんな歴史や場所があることを知ってもらいたい。授業の中でこうした番組を見せる機会があれば、子供たちの心に残るのでは。また今後にも生かされるのではと思う。

また、先ほど堀口さんのお話し同様、アンズはお花だけでなく加工品なども魅力あるものが多い。旅先を決めるのは「食」が重要だと思いますので、場所を紹介するだけでなく

そこにまつわる食を取り上げていただくと番組に関心が高くなると思う。
ちなみに、あんずいなり弁当というのもやっている。よければ取り上げていただきたい。

○信州 CATV：塚田

ちくま探訪の若い世代やより多くの市民に視聴してもらいたいというご意見について、
当社も PR や宣伝が足りないかと反省するところ。告知にも力を入れたい。

・新たな取り組み

毎年、アンズの花見の時期になるとあんずの里にライブカメラを設置して開花の状況が
わかる映像を放送しているが、今年は、戸倉庁舎に専用の光回線があるので、新たに戸倉
宿キティパークの桜が分かるように戸倉庁舎へライブカメラを設置した。

アンズの花見シーズンが終わったら旧戸倉庁舎の屋上から狙ったキティパークの生の
映像を配信する予定です。（現在設置しているライブカメラの映像を見せながら説明）

○信州 CATV：山浦

ライブカメラについては、来年も同様に見えるかどうかは難しいところもあるが、
我々としては、今まではケーブルテレビに加入しているお客様に関して自主放送を見て
いただく、視聴料をいただく。イコール加入者しか見ることができないという形で、
あくまでも地域の中であることを地域の中であるという形になってくるといことで
色々難しい部分もあった。しかし、時代とともに、世の中の情報発信の形もだいぶ変わっ
てきた。昔より放送機材も安価になりスマートフォンでも撮影ができる時代になり、個人で
も映像配信をされる方が出てきている。ご提供いただければ、個人で撮影した映像を我々の
ケーブル網を使って加入者の方に流すことができますし、また県内や全国規模に対しても
発信することは可能になってきている。今後はそういった所で映像などをお寄せいただく
手続きをしていきたい

先ほどのちくま探訪もこのままでいくと、加入者のみになってしまうので、2次利用、3次
利用を模索していきたい。たとえば番組は30分だが、学校の授業で活用できるような5分
程度の短いバージョンも制作するなど考えたい。

色々ご意見いただきながら関係各所と相談して進めていければと思う。

インターネットでの動画も主流になってきたのでこのあたりも参入したいが、権利処理の
ハードルが高い。過去のものはどうにもならないが、今後のものに関してはその当たりをク
リアした番組を集め、当社で放送するだけでなく、趣味的な部分で公開したりも可能にはな
って来ると思っている。いずれにしても、皆様のご意見を反映した番組制作すすめたいので、
今後ご協力をお願いしたい。